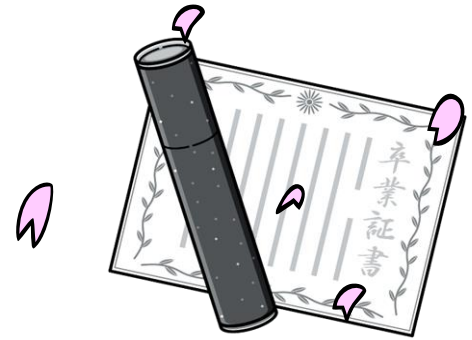


御卒業、おめでとうございます

平成30年度の卒業証書授与式が3月15日に挙行され小学部8名、中学部11名、高等部17名の児童生徒が、新たなステージへと巣立って行きました。小学部6年生は7名が本校中学部、1名が千葉市立養護学校に、中学部3年生は義務教育を終え、本校高等部に、また、高等部3年生は12年間の学校生活を終え、社会へ旅立ちました。

一人一人が壇上に上がってしっかりと前を向き、卒業証書を受け取る姿は大変立派でした。在校生と教職員全員の気持ちを式歌や拍手に込めて、卒業生の皆さん一人一人の頑張りを讃え、晴れの姿にエールを送りました。御来賓も34人の方々が出席して見守って下さいました。厳粛な中にも温かい本校らしい卒業式とすることができたものと思います。

卒業生はくれぐれも身体に気を付けて、一人一人に合った生活を送ってほしいと願っています。



卒業生を送る会・送別会

2月末から3月の始めには各学部で卒業生を送る会や送別会が行われました。小学部では2月28日に「6年生を送る会」、中学部は3月4日に「3年生を送る会」、高等部は1日に「送別会」が行われ、それぞれ工夫を凝らした催しをしました。在校生が今までお世話になった感謝や尊敬の気持ちを込めながら、最高学年を送り、一緒に楽しいひと時を過ごしました。



表彰おめでとうございます。

○第71回千葉県小・中・高校書き初め展覧会に応募しました。金賞、銀賞、そして書星会賞を受賞しました。書星会賞を受賞した高1；神保堯宏さん、田路祥彰さん、酒井峻介さん、高2；五十嵐迅さん、鰐口勝彦さん、遠藤早紀さん、根本佳汰さん、久保木秀幸さん、高3；高橋美奈さん、9名の受賞を含み、全校102名の児童生徒が各賞をいただき表彰されましたのでお知らせいたします。

○平成30年度日本漢字能力検定にチャレンジし、10級；小2多田知史さん、小6松下夏美さん、中1高橋太陽さん、高2多部田早江さん、9級；高3増田幸治さん、8級；中2大木雄聖さん、高2鰐口勝彦さん、久保木英幸さん、高3日下未来さん、7級；綿引剛琉さん、4級；高2金杉強志さん、3級；高1向後恭介さん、高3豊田悠利衣さんの合計13名の児童生徒が合格し、表彰されました。受検者にとっては合否にかかわらず、日頃の学習の成果としての励みになったようです。次年度もさらに検定チャレンジの機会を増やしていきたいと考えます。

※一年間、学校運営に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。

(校長 岩瀬 広幸)



4月の予定 <卯月> <April>

うづき えいぷりる



1	月	学年始休業
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	始業式・着任式 11:40 下校
9	火	給食開始
10	水	平成31年度入学式 11:40 下校
11	木	小1短縮 11:40 下校 旧PTA役員理事会&新旧引継ぎ 11:00~
12	金	小1短縮 11:40 下校 高等部4計則AM 高等部 新入生歓迎会PM
13	土	
14	日	
15	月	小1短縮 11:40 下校

16	火	尿検査一次①ぎょう虫卵検査
17	水	がんばろう集会 10:00~ 尿検査一次② 眼科検診 14:00~
18	木	内科検診 13:50~
19	金	
20	土	PTA総会(授業参観) PTA懇親会 引き渡し訓練
21	日	
22	月	振替休業日
23	火	運動会特別日課開始 高1・胸部X線検査 13:00~ 新・転入生・希望者対象家庭訪問週間~26(金)
24	水	
25	木	PTA役員理事会
26	金	運動会全体練習 尿検査一次③ 二次①
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	国民の祝日



~かどりのウサギ~

高等部主事 藤原 秀訓



香取特別支援学校中庭の隅に黒く汚れたウサギの像があるのをご存じでしょうか？

このウサギの像は第2回高等部卒業生が残していった卒業記念の像です。3学期いっぱい力を合わせて完成させた白いウサギでしたが、以来36年経ち色あせてしまいました。きっと風雨に耐えながら、中庭で遊ぶ児童生徒を見守って来たからでしょうか。

特別支援教育(以前は特殊教育と呼ばれていました)の節目は幾つかあったと思いますが、その一つが支援費制度の始まりだったと思います。これにより障がい者福祉が「措置から契約に」と劇的に変化しました。福祉施設を使つての産業現場等における実習も福祉サービス利用できるようになりました。また、学校と自宅の行き帰りだけだった放課後も放課後等デイサービスが始まりました。卒業後の施設利用も決められた施設に行くのではなく、自分が利用したい施設選ぶという選択ができるようになりました。今では就労移行サービスと自立訓練を合わせた〇〇大学校という名前の福祉サービスを始めた施設もあると聞きます。36年前ある保護者から「先生、やっと高等部ができたので、今度は専門学校や大学がほしいですね。」と話しかけられました。施設に入るために高等部を中退する時代でした。福祉サービスになったおかげで、いろいろなニーズを拾い応じられるようになってきました。これからも子ども達を取り巻く社会は変化していくでしょう。どうせ変化するなら、安心して自分の力を発揮できる社会、我が子の成長をよるこべる社会に変化してくれればと思っています。

これから先も、かどりのうさぎは中庭で遊ぶ児童生徒を見守ってくれると思います。

